

北海道手をつなぐ育成会
げっぽう

第66回 北海道育成会全道大会

岩見沢大会 記念公演

「SHINGEKI」部

新篠津高等養護学校演劇部です！

札幌から車で1時間ほどに位置する新篠津村は人口約3200人の農業を基幹産業とする田園風景が広がる街です。その村に平成4年、社会自立を目指す。開校した新篠津高等養護学校は現在、職業学科6学科に所属する135名の生徒が在籍しています。そのうち123名は校舎に隣接する寄宿舎を利用し、学校に通ってきています。本校の部活動はサッカー、バスケットボール、卓球、陸上競技、ダンス、合唱、美術、パソコン、演劇の計9種類を展開しています。基本の活動は月曜日と木曜日ですが、大会などが近い場合は、強化練習を設定するなどして各々が工夫をしながら活動しています。

演劇部の創部は2015年4月。創部時は手探り状態でしたが「演劇部は文化系体育部である！」と部員に言い聞かせ、ランニングや筋トレ、発声練習に汗を流しました。初年度は校内の発表会だけであったものの、翌年には部長発案による高齢者福祉施設への慰問公演が実現、そして最大の目標だった高文連高校演劇大会の出場に向けて大き

く舵を切ったのでした。

高文連演劇大会に出場すると決めてから、「ウチらにしかできないことをやる」をモットーに舞台づくりをしています。「ウチらにしかできないこと」それはつまり、自分の障がいと向き合うことを意味しています。高校生という年代である彼らは、少なからずアイデンティティについて考え、模索し、悩みます。

コロナ禍で1年生が入部できていない状況ですが、現在部員は12名。例年、校内発表、高齢者福祉施設への慰問公演、高文連高校演劇大会への出場。3月には卒業公演と銘打ち、新篠津村をはじめとした地域の方からのご支援をいただきながら自主公演を行い、一年を締めくくるといふ流れができています。昨年度は活動を制限されながらあります。



高文連高等学校文化連盟



したが、高文連の大会と自主公演をなんとか実施することができました。

創部7年目、一貫して「自分たちの問題意識に向き合う」ことをテーマにして舞台を創っています。それは彼らが社会に出て行く上で、避けたり、見ない振りをしたりしては生き抜いていけないと思うからです。しっかりと自分たちを通して社会を見抜く力を持ち、強く、そして、しなやかに生きてほしい。常にそんな思いで私は彼らと演劇と向き合っています。

この度、お届けする作品は高文連の大会に向けて、創作している新作です。（この原稿を書いている現在、まだ脚本が仕上がっておりません。）今年は認知症のおばちゃんと高等養護学校に通う生徒との交流を描く予定です。「自分は何者なのか。」問い続ける二人が寄り添い合ったとき、生まれる何かを描きたいと思っています。7/28〜30まで合宿を経て、そのまま上演にこぎつけるつもりです。何とか皆様にご届けられる作品になるよう向き合っていきたいと思しますので、よろしくお願ひします。

演劇部顧問 山田勇氣

演劇部部長の福岡美優です。
演劇部を御招待いただきありがとうございます。
これからの演劇部は一人一人
が協力して頑張っていきます。

■新篠津高等養護学校演劇部の歩み

2015・4	『創部』校内発表中心に活動
2016・10	「どんぐりの学校」高文連石狩支部大会 最優秀賞
11	「同作品」高文連全道大会優秀賞
2017・3	「同作品」高文連春季全国大会出場
10	「ましろく怒れり」高文連石狩支部大会 優秀賞
2018・1	障害者芸術文化普及事業全国報告会（大阪大会）招致公演 「よだかの夢」高文連石狩支部大会最優秀賞
10 11	「同作品」高文連全道大会優秀賞 「オツベルの象たち」高文連石狩支部大会 最優秀賞
11	「同作品」高文連全道大会優秀賞 「同作品」高文連春季全国大会推薦（大会中止）
2020・10	「生徒諸君に寄せる」高文連石狩支部大会 優秀賞

*その他自主公演実施



令和3年度 道育成会「定時総会」 道サポート協会「定期総会」

オンライン（Zoom）開催に！

会員の皆様には2年連続の書面決議を避け、感染防止対策を万全に5月24日、札幌市での開催をご案内しておりました。しかし、道内では5月の連休後、札幌市を中心に急激な感染者増となり、12日、初めてとなる「まん延防止等重点措置」が適用され、続く16日には、3度目となる「緊急事態宣言」が発出されました。

すでに総会の出欠が会員の約7割から届いていたことや、2年続けての書面決議は避けたいことから、急遽、参加を希望する会員へ必要な支援をお約束し「オンライン会議（Zoom）」に切り替えました。ホスト役として札幌市育成会のご協力をいただき、道内各地の19会員（地区育成会）及び、16名の理事、3名の監事の皆様の参加のもと、史上初となるオンライン総会を開催するに至りました。

事前の見通しが甘く、お詫び申し上げますと同時に、急遽、ご理解とご協力をいただきました皆様には心からお礼申し上げます。結果として、コロナ禍における育成会活動の可能性を広げる大きな一歩を踏み出すことになりました。

つきましては、総会でのご挨拶や、決議事項、また、同日開催されました第2回理事会の結果等につきまして、その概要をお伝えします。

【会長挨拶】

めげずに前へ



昨年は、1回目の緊急事態宣言との兼ね合いで、本会の総会は書面で実施しました。また、10月に予定していた「第65回全道大会北見大会」についても開催地が「道内初のクラスター」発生地域となったこともあり、中止を決断しました。

今年の総会は、3回目の緊急事態宣言が発出されたことから、急遽、オンラインでの開催に切り替えました。7月31日開催の「第66回全道大会岩見沢大会」は史上初となる、オンライン開催をめざし、現地実行委員会を中心に準備を進めています。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの活動に様々な困難を突き付けると同時に「無知と偏見」から新たな差別さえも生んでいます。障がい当事者や家族の代弁者として、今、育成会が果たしていく役割は、ますます求められているのではないのでしょうか。

さあ、今年度も他の障がい者団体、個人とも協同し、コロナ対策をしっかりと行い、腹を据え、めげずに頑張っていこうではありませんか。

「気づいた人が責任者」なのです。

北海道手をつなぐ育成会

会長 佐藤春光

【ご挨拶】（メッセージより一部抜粋）

道育成会定時総会の開催に寄せて

「北海道手をつなぐ育成会」におかれましては、このようなコロナ禍の中、道が実施する「知的障がい者生活文化教室開催事業」を受託され、知的障がいのある方々がゆとりと生きがいのある豊かな地域生活を営むことができるよう、各種文化教室を開催いただいております。関係者の皆様のご努力に対し、お礼を申し上げます。

道では、本年3月に「第6期北海道障がい福祉計画」を策定し、「障がい者の自立と社会参加の促進」や「就労支援施策の充実・強化」において、新たな取組を進めるほか、災害対策や感染症対策についても内容に盛り込んだところであります。引き続き、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

北海道保健福祉部福祉局
障がい者支援担当局長 新井明様

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、貴会においては、「だれもが自分らしく暮らせる社会を」を大会テーマに、また「巻き起こそう！共生社会の実現を バラのまち岩見沢から」を大会スローガンにして、一人一人の人格と個性を尊重しあえる「共生社会」の実現に向け、第66回北海道手をつなぐ育成会全道大会岩見沢大会の開催を予定するなど、コロナ禍の厳しい状況にあっても知的

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,396,689	488,106	1,908,583
普通預金	2,396,689	488,106	1,908,583
未収金	487,160	503,700	△16,540
前払金	1,900	0	1,900
流動資産合計	2,885,749	991,806	1,893,943
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(2) 特定資産			
夢基金	3,523,173	3,522,874	299
財政調整基金	24,316,045	24,315,550	495
特定資産合計	27,839,218	27,838,424	794
(3) その他固定資産			
什器備品	1	2	△1
その他固定資産合計	1	2	△1
固定資産合計	28,839,219	28,838,426	793
資産合計	31,724,968	29,830,232	1,894,736
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	430,000	6,000	424,000
前受会費	4,000	0	4,000
預り金	124,275	120,501	3,774
流動負債合計	558,275	126,501	431,774
負債合計	558,275	126,501	431,774
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	27,839,218	27,838,424	794
正味財産合計	31,166,693	29,703,731	1,462,962
負債及び正味財産合計	31,724,968	29,830,232	1,894,736

令和2年度 決算書(予算対比正味財産増減計算書)
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (単位:円)

科 目	全 会 計		
	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	0	794	△794
受取会費	6,823,000	6,685,380	137,620
正会員受取会費	3,200,000	3,165,290	34,710
賛助会員受取会費(機関紙頒布収入)	3,623,000	3,520,090	102,910
受取補助金等	8,210,000	5,074,280	3,135,720
受取委託費	8,350,000	8,350,000	0
受取寄付金	0	10,000	△10,000
雑収益	670,000	987,313	△317,313
経常収益計	24,053,000	21,107,767	2,945,233
(2)経常費用			
事業費	14,942,000	10,941,499	4,000,501
職員費	4,580,000	4,636,068	△56,068
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	3,700	6,300
旅費交通費	600,000	50,690	549,310
通信運搬費	200,000	415,341	△215,341
手数料	40,000	4,620	35,380
消耗品費	30,000	54,300	△24,300
印刷製本費	1,010,000	1,253,670	△243,670
助成金	6,880,000	2,974,000	3,906,000
研修費	200,000	157,110	42,890
委託費	132,000	132,000	0
管理費	9,626,000	8,703,305	922,695
職員費	1,965,000	2,153,595	△188,595
退職給付費用	84,000	203,560	△119,560
福利厚生費	30,000	10,469	19,531
会議費	70,000	45,394	24,606
旅費交通費	1,600,000	681,720	918,280
通信運搬費	300,000	119,590	180,410
手数料	70,000	58,305	11,695
消耗品費	3,862,000	3,828,301	33,699
使用料・賃借料	415,000	392,276	22,724
負担金	620,000	507,500	112,500
委託費	70,000	59,400	10,600
雑費	540,000	643,195	△103,195
経常費用計	24,568,000	19,644,804	4,923,196
評価損益等調整前当期経常増減額	△515,000	1,462,963	△1,977,963
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△515,000	1,462,963	△1,977,963
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	1	△1
当期経常外増減額	0	△1	1
当期一般正味財産増減額	△515,000	1,462,962	△1,977,962
一般正味財産期首残高	0	29,703,731	△29,703,731
一般正味財産期末残高	△515,000	31,166,693	△31,681,693
II 正味財産期末残高	△515,000	31,166,693	△31,681,693

障がいのある方々が地域で生き生きと生活できるための取組を推進し続けていることに對し、大変心強く感じております。

さらに、新型コロナウイルス感染症への対応について、地域で安心して暮らせるための具体的な取組に尽力いただいていることに、重ねて感謝を申し上げます。

道教委といたしましても子どもの安全と学びを保障するための取組を進めてまいりたいと考えており、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道教育庁学校教育局

特別支援教育担当局長 川端雄一様

【決議事項】（一部を紹介）

第5号議案

令和3年度 事業計画

昨年度、コロナ禍で厳しい活動が強いられましたが、リニューアル版「いくせいかカレンダー2021」は、高い評価をいただきました。約1700部をお届けすることができました。当事者はもちろん、育成会のエネルギーを実感した取り組みのひとつです。

また、行政への「ワクチン接種への配慮を求める要望活動」では道内7市1町の育成会が各々の自治体に要望書を提出しました。それらの自治体の人口は道内総人口の57%に及びます。同時に、他障がいの親の会との共同提出もその数を増やし、現在は育成会を含む7団体に広がりを見せています。

さらに、第66回全道大会岩見沢大会は、2

令和3年度 収支予算書（案）
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで （単位：円）

科 目	全 会 計		
	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	3,118,000	6,823,000	△3,705,000
事業収益	700,000	0	700,000
受取補助金等	8,180,000	9,160,000	△980,000
受取委託費	9,050,000	8,350,000	700,000
機関紙頒布収入	3,490,000	0	3,490,000
雑収益	220,000	670,000	△450,000
経常収益計	24,758,000	24,053,000	705,000
(2)経常費用			
事業費	15,130,000	14,942,000	188,000
職員費	4,768,000	4,580,000	188,000
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	500,000	600,000	△100,000
通信運搬費	300,000	200,000	100,000
手数料	40,000	40,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
印刷製本費	1,010,000	1,010,000	0
助成金	6,880,000	6,880,000	0
研修費	200,000	200,000	0
委託費	132,000	132,000	0
管理費	9,965,000	9,626,000	339,000
職員費	2,201,000	1,965,000	236,000
退職給付費用	176,000	84,000	92,000
福利厚生費	30,000	30,000	0
会議費	70,000	70,000	0
旅費交通費	1,300,000	1,600,000	△300,000
通信運搬費	600,000	300,000	300,000
手数料	70,000	70,000	0
消耗品費	4,298,000	3,862,000	436,000
使用料・賃借料	460,000	415,000	45,000
負担金	620,000	620,000	0
委託費	70,000	70,000	0
雑費	70,000	540,000	△470,000
経常費用計	25,095,000	24,568,000	527,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△337,000	△515,000	178,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△337,000	△515,000	178,000
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△337,000	△515,000	178,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△337,000	△515,000	178,000
II 正味財産期末残高	△337,000	△515,000	178,000

回連続の中止は避けようと、全道大会史上初となる「オンライン開催」に挑戦します。

小さな育成会を、大きな育成会あるいはブロックが支援します。今年度は会議や、研修会におけるオンライン化も試行していきます。やはり、多くの方々と繋がり、仲間を増やし、声を挙げるのが私たち「育成会」。今年度も役員を先頭に道内育成会会員の奮起を訴えます。

令和3年度 活動の重点（6項目）

1. ブロック体制の確立と活動の充実、強化
2. 育成会活動活性化の推進
3. 他機関、他団体との連携強化
4. 障がい理解と合理的配慮の普及・啓発活動の推進

5. 本人活動への支援、自立・社会参加の促進

6. 育成会「広報・情報・芸術・スポーツ活動」の推進

*総会議案については、全正会員の同意をいただき議決されました。また、同日開催された第2回理事会におきまして、令和3年度役員が選任されましたのでご報告します。

会 長 佐藤 春光様（しらおい障がい者と手を

つなぐ会）

副会長 畑中三岐子様（帯広市手をつなぐ育成会）

副会長 長江 睦子様（札幌市手をつなぐ育成会）

【サポート協会 定期総会 会長挨拶】

コロナ禍だからこそサポートを



昨年から、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、変異株の増加、ワクチンの供給不足など、収束の見通しも立たない状況でございます。多くの行事が中止や延期を余儀なくされ、私たちの本来の姿である、みんなで集い、語り、声を上げるといった活動が厳しく制限されております。

大変残念ですが、コロナ禍においては、安全、安心を常に意識し、今後とも忍耐強く対応していかなければと考えます。

さて、このような中、サポート協会では、各地の育成会の皆様と手を取り合いながら、そうした不安を少しでも解消できればと考えております。何かお役に立てることがあれば、お申し出いただき、サポート協会の目的である、障がいのある方とご家族の生活の安定と福祉増進に寄与して参りたいと考えています。

今後、親亡き後の心配が少しでも解消されますよう共に頑張りましょう。また、引き続き、道育成会がサポート協会の窓口となりますのでよろしくお願い申し上げます。

北海道生活サポート協会会長

畑中 三岐子

*総会議案については、全正会員の同意のもと、議決されました。ご多用の中、ご協力に心より感謝申し上げます。一部を掲載します。

第4号議案

令和3年度 事業計画

3. 助成事業

(1) 育成会拡大活動ブロック助成事業に助成し、各ブロック連絡協議会が行う研修会等を道育成会と共催・実施します。

(2) 本人が作成した絵画をWeb展示する場の確保や、評価された作品をカレンダーに印刷、販売する事業を道育成会及び、事業所連絡協議会と共同で実施します。

4. 研修事業

(1) 道育成会が行う研修事業に協賛、助成すると共に「生活サポート総合補償制度」の普及と加入者対応等業務について、事務費、人件費、所要分を負担します。

(2) 「本人の会」が主催する「ひろげようみんなのわ」の開催について、助成します。

(3) 関係機関と連携、協力し「年金」「親なきあと」「後見人制度」等各種セミナーの開催を追求します。



*同日開催された第2回理事会におきまして、令和3年度役員が選任されました。

会長 畑中三岐子様
副会長 佐藤 春光様・長江 睦子様

【全国の動向】

国、自治体の支援「責務」を明文化

医療的ケア児支援法が成立

標記の法案が、6月11日参議院本会議において全会一致で可決成立しました。

たんの吸引や人工呼吸等、日常的に医療的なケアが必要な子どもと、その家庭を支援する法律です。保育所や学校などに通う機会が保障されるように、医療的ケアを行う看護師ら必要な人材を置くことが設置者に求められ、国や自治体は支援を広げる責務を負います。厚労省によれば、医療的ケア児は全国で推定2万人。同法は、議員立法として超党派議員らが5年間に及び議論し、ケアに長年携わってきた家族の声も生かされているとのことです。

今後の予定

7月6日(火) 第1回 ブロック事務局長会議 (オンライン会議)
7月31日(土) 令和3年度 第66回北海道育成会 全道大会 岩見沢大会 (オンライン大会)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

病氣やケガが絶えない・・・
成人病や生活習慣病に備えたい・・・
他人の物を壊してしまった・・・
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある・・・

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険（特約付）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート

このようなお困り事に
心当たりがある方に・・・

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

主な補償内容

病氣やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は・・・
全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所連絡協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会
通所事業所連絡協議会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

**特定非営利活動法人 スワンの家
地域活動支援センター**

〒086-0205 野付郡別海町別海常盤町292-10
電話/FAX (0153)75-3881
E-mail: swan@jupiter.ocn.ne.jp

★障害者継続支援B型

★主な作業

- ☆カフェ営業
- ☆パン、クッキー製造
- ☆せつけん製造
- ☆清掃、環境整備作業
- ☆その他